

何を使う

機器 ①ディスプレイ ②タブレット

ソフトウェア (アプリ)

PowerPoint (Microsoft)



それをどう使う (それで何ができる)

- ・ディスプレイに要点を映しながら黒板で問題を解く。
- ・関数ソフトを用いて、ディスプレイに映すことによって、グラフの変化について考察する。
- ・導入時のアイスブレイクにおいて、暗算で解ける問題をディスプレイに映し、問題を解く。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 数学

【 Before 】

- グラフの変化について、板書のみで説明する。

【 After 】 **メリット**

- パワーポイントを用いることで、グラフの変化についての板書の時間を省き、授業中の机間指導の時間を増やすことができる。
- 色を付けるなどの工夫で、見やすいグラフを提示できる。
- 授業時間内で多くのグラフを提示することが可能となり、生徒に基本問題を多く提示することができる。
- 定義域・値域の変更が容易なため、場合分けもわかりやすく示すことができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
		○		大型提示装置				
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続	1人1台端末			
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		数学	
		○	○		活用が想定される場面		授業	